

# はしか まん延防止へ「検討チーム」

県議会公明党の要請受け発足

## 必要な対策総合的に実施

神奈川県



はしかの感染拡大防止に関する申し入れ書を知事(右から3人目)に提出する県議会公明党のメンバー

神奈川県は24日、県議会公明党(藤井深介団長)の申し入れを受け、尾高暉重副知事を座長とし、関係部局による「麻疹(はしか)対策庁内検討チーム」を発足させた。

はしかが大流行の兆しを見せ、県民の間に不安が広がっていることを踏まえ、県として罹患状況を把握するとともに、必要な対策を総合的に検討し、実施するもの。

具体的には①県内の公立立諸学校における麻疹の発生状況の把握と、

まん延防止対策の要請②麻疹に未罹患でワクチン未接種の県民に対するワクチン接種の周知③麻疹の具体的な予防策、発症した場合の対応の周知——を柱に取り組む。

県議会公明党は前日の23日、県として感染拡大防止策を打ち出す必要性があるとの観点から、県庁内で松沢成文知事に対し、はしか集団感染の拡大防止に関する申し入れを行った。

これには藤井団長、赤井和憲副団長、鈴木秀志政調会長、渡辺均、佐々

木正行両政調副会長、小野寺慎一郎の各県議が同席した。

申し入れでは、①県内のはしかの未罹患またはワクチン未接種の児童・生徒が予防接種を受けやすいように、市町村に対して積極的な対応を要請する②集団発生の恐れがある場合、大学生や成人については、大学や企業に予防接種を要請する③ワクチンの十分な確保を図るに要請する④具体的な予防策や発症した場合の対応について周知徹底する——の4項目を早急に対応するよう強く求めた。

これに対し、松沢知事は「私学の感染状況の情報をまとめ、保健福祉部と協議の上、早急に取り組んでいく」と述べていた。